

平成29年度東部地区道徳授業研修会

授業研究を通して教員の指導力の向上を図り、小中学校における道徳の時間及び道徳教育の一層の充実に資するため、道徳授業研究会を開催いたしました。

各会場校では創意工夫にあふれた授業が展開され、各分科会では参会者の先生方が熱心に協議する姿が見られました。

久喜市立鷺宮小学校

低学年部会

主題名 ありがとうをつたえたい【内容項目 B 感謝】

資料名 「はちさんのひみつ」(「みんなのどうとく」学研)



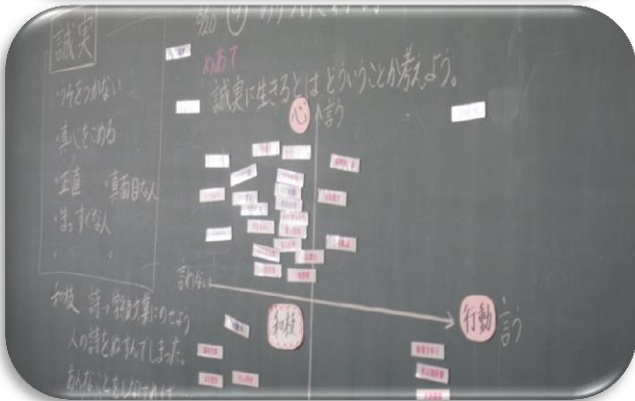
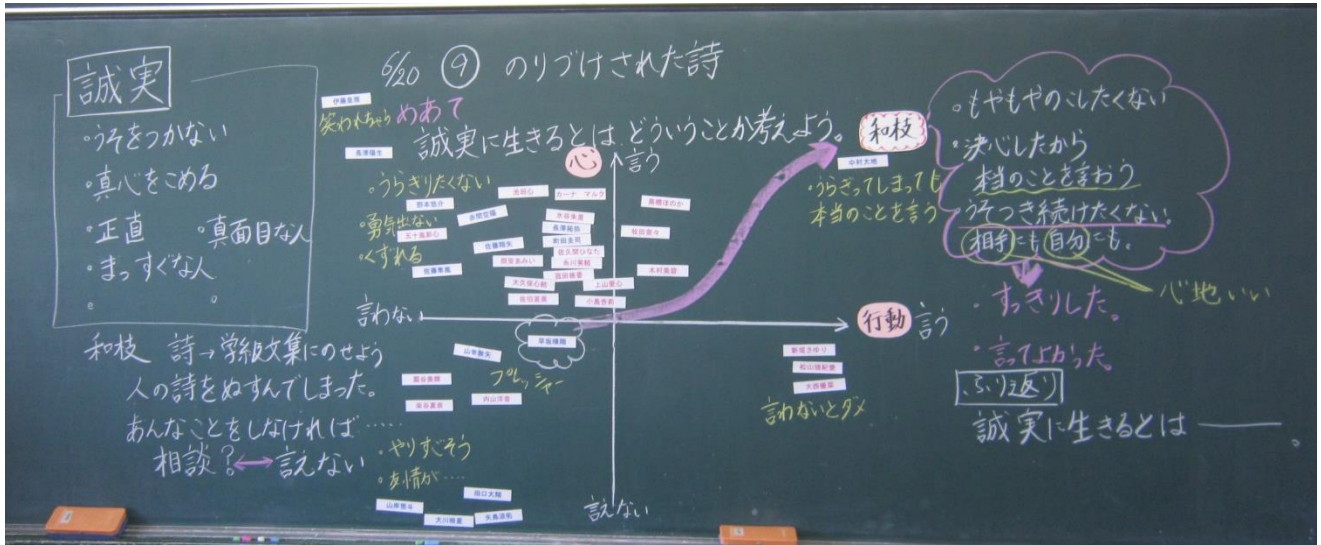
中学年部会

主題名 やさしく親切に【内容項目 B 親切・思いやり】
 資料名 「心の信号機」(「みんなのどうとく」学研)



高学年部会

主題名 誠実に生きる【内容項目 A 正直、誠実】
 資料名 「のりづけされた詩」(「みんなのどうとく」学研)



参会者の感想

1 研究授業及び分科会をととして参考になったことは何ですか（特に多かったもの）

低学年部会

- ・終末における説話等の工夫
- ・導入における資料提示の工夫
- ・板書を生かす工夫

中学年部会

- ・板書を生かす工夫
- ・発問の工夫
- ・終末における説話等の工夫

高学年部会

- ・板書を生かす工夫
- ・話し合い活動の工夫
- ・書く活動の工夫

【その他】

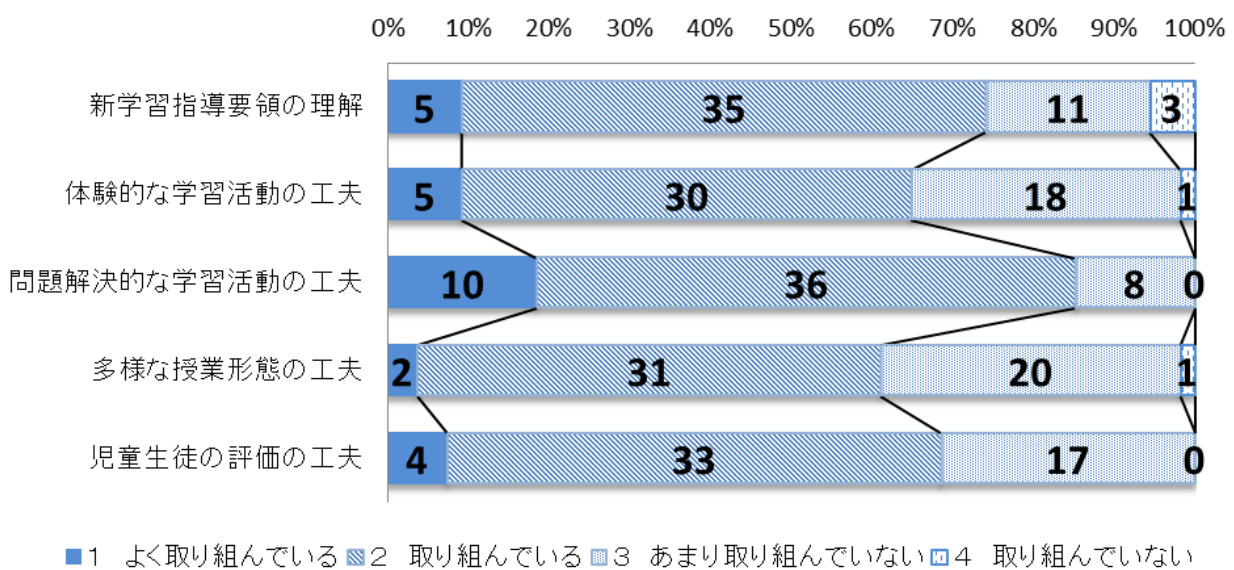
○ゲストティーチャーが参加したことで子供たちの心が自然と感謝へとつながっていたと思いました。

○めあてから価値に迫る部分と主人公の思いの移り変わりが整理されており板書が分かりやすかったです。

○座標軸を用いて気持ちの変化を捉えやすくしており大変わかりやすかったです。

○道徳ノートを使うことで、考えが残る良さを学ぶことができました。

2 「特別の教科 道徳」全面実施に向けて現在どのようなことに力を入れていますか



3 日頃、道徳の授業で感じている悩みや取組

- 低学年は、文書を書く力が低いため、振り返りを書かせても評価に結び付けるのが難しい。
- 教科化になるとどのように授業を変えないといけないか、分からないことが多く不安です。
- 「自分だったらどうする」という問いかけを打ち出しあらゆる問題に向き合おうとしています。
- 毎年教員が入り替わるため、4月に自校の道徳の授業の型を皆で確認しています。
- 「話し合いを深める手立て」「教科化を意識した授業」などに悩んでいます。
- 1回1回の道徳の授業が子どもたちの生き方や考え方に大きく響く可能性を感じています。
- 1回1回の授業が少しでも新たな気づきのある授業になるよう研修していきたいと思えます。
- 毎時間課題を提示することで、振り返りが明確になり授業の筋が通ったように感じます。